

令和5年6月30日(金)「教えて!!ドクターQ&A」

神奈川新聞② COPD

(質問) 咳や痰が気になり病院に行ったところ、COPD との診断でした。一生治らないのでしょうか？

(回答) COPD は、「慢性閉塞性肺疾患」の略称であり、たばこの煙を主とする有害物質を長年吸入することによってかかる病気です。この病気では、肺の実質を作る小さな袋である肺胞が、広範囲に破壊された状態(肺気腫)がみられます。その結果肺の重要な機能であるガス交換(酸素を取り入れ二酸化炭素を排出する)がうまく行われなくなり、また呼吸機能検査によって気流の閉塞を示します。症状としては、慢性の咳・痰や、徐々に進行する呼吸困難を特徴とします。これは世界的にも有病率の高い病気です。

COPD の最大の危険因子は喫煙なので、喫煙しないことによって、ほとんどの COPD は予防可能であると考えられています。また、これを発症した後の治療として最も重視されるのが禁煙ですが、禁煙とともに重要なのは、気道の閉塞を防ぐ薬を使用することです。具体的には、長時間作用型の気管支拡張薬を定期的に吸入することが推奨されています。この治療によって、狭くなった気道を広げ、呼吸困難などの症状を改善させることが可能となっています。ほかに COPD の悪化を防ぐ手段としては、肺炎球菌やインフルエンザなどのワクチン接種があげられます。COPD では通常のゆるやかな経過以外に、急激に症状が悪化することがあり、これを急性増悪といいます。そのようなときには、抗生物質、短時間作用型の気管支拡張薬、ステロイド、酸素などの投与が行われます。

COPD が早期に発見された場合には、禁煙や薬物療法によって、ほぼ正常と変わらない生活を送ることが可能ですが、病気が進むと、血液中の酸素レベルの低下にともない呼吸困難がひどくなり、常時酸素を吸入する必要が生じることもあります。また肺炎にかかりやすくなったり、体重減少がみられたり、循環器などの病気を合併したりすることも多くなります。COPD は一生治らないのか？とのご質問ですが、たしかに一度破壊された肺胞は元通りになることはないと言われています。ただしここに述べたように、病気が発見された時点で禁煙のうえ適切な治療を根気強く続けることで、呼吸機能の悪化を防ぎ、生活レベルの維持を目指すことが可能になりつつあります。